



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2018年11月2日

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所  
 コード番号 6495 URL <http://www.miyairi-valve.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田憲司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 市川 浩

TEL 03-3535-5575

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	2,247	3.1	0		7		10	
2018年3月期第2四半期	2,319	11.0	37	1.0	75	150.2	83	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	0.23	
2018年3月期第2四半期	1.75	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	8,899	3,979	44.7
2018年3月期	8,735	4,088	46.8

(参考)自己資本 2019年3月期第2四半期 3,979百万円 2018年3月期 4,088百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		1.00	1.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	4.3	80	38.5	70	31.3	60	42.4	1.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	48,849,935 株	2018年3月期	48,849,935 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,029,809 株	2018年3月期	1,047,709 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	47,808,392 株	2018年3月期2Q	47,802,227 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や相次ぐ自然災害、為替・株式市場の不安定さの影響を受けたものの、個人消費の持ち直しや企業収益の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当第2四半期累計期間の売上高は、LPGガス容器用弁については、記録的な猛暑によるガス需要の減退や風水害等による容器や再検査本数の低迷を背景として減少しました。また、工事案件の減少および造船市場の冷え込みにより、設備用弁および船舶用弁が各々減少しました。一方で、LPGバルク付属機器の交換需要が立ち上がり始めたこと、およびLNGを核とする積極的なマーケティング活動を推進したことにより、LPGバルク付属機器および低温弁が各々増加しました。その結果、売上高は2,247百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

損益面につきましては、LPGガス容器用弁をはじめとする主要原材料である黄銅材の価格が年初から引き続き高値で推移したこと、人件費が増加したこと、荷造費等の諸掛かりが上昇したこと、およびこれらに対処すべく取り組んだ製品の値上げが当初予定より大幅に遅れたことにより、収益が圧迫され、営業損失が0百万円(前年同期は営業利益37百万円)となりました。また、当第2四半期累計期間においては、前年同期に計上した非経常的・臨時的な営業外収益(保険解約返戻金38百万円)および特別利益(固定資産売却益30百万円)の計上がなかったため、経常損失は7百万円(前年同期は経常利益75百万円)、四半期純損失は10百万円(前年同期は四半期純利益83百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産・負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、126百万円増加して4,069百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加497百万円および原材料及び貯蔵品の増加99百万円による一方で、現金及び預金の減少179百万円および受取手形及び売掛金の減少275百万円によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて、37百万円増加して4,830百万円となりました。これは主に、機械及び装置の増加728百万円による一方で、建設仮勘定の減少689百万円によるものです。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて、163百万円増加して8,899百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は前事業年度末に比べて、122百万円減少して2,435百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加79百万円による一方で、その他の流動負債の減少212百万円によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて、395百万円増加して2,483百万円となりました。これは主に、長期借入金の増加380百万円によるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、273百万円増加して4,919百万円となりました。

##### (純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、109百万円減少して3,979百万円となりました。これは主に、四半期純損失10百万円およびその他有価証券評価差額金の減少53百万円並びに剰余金の配当47百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の46.8%から44.7%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、169百万円減少(前第2四半期累計期間は125百万円の増加)して319百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は321百万円(前第2四半期累計期間は11百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の減少額263百万円および破産更生債権等の減少額248百万円により増加する一方で、貸倒引当金の減少額236百万円およびたな卸資産の増加額602百万円により減少するものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は297百万円(前第2四半期累計期間は206百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出306百万円により減少するものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は449百万円（前第2四半期累計期間は319百万円の増加）となりました。これは主に、短期借入金の純増額79百万円および長期借入れによる収入557百万円により増加する一方で、長期借入金の返済による支出119百万円および配当金の支払額46百万円により減少するものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年5月8日発表の「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「2019年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	588,812	409,750
受取手形及び売掛金	1,087,881	811,933
商品及び製品	1,688,375	2,186,010
仕掛品	55,315	60,060
原材料及び貯蔵品	458,516	558,266
その他	65,302	44,475
貸倒引当金	△1,398	△1,398
流動資産合計	3,942,805	4,069,097
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	377,405	393,202
構築物(純額)	65,842	63,376
機械及び装置(純額)	320,617	1,049,615
車両運搬具(純額)	418	1,621
工具、器具及び備品(純額)	42,757	53,232
土地	2,441,000	2,441,000
リース資産(純額)	38,658	38,501
建設仮勘定	699,669	9,673
有形固定資産合計	3,986,369	4,050,222
無形固定資産		
投資その他の資産	19,669	16,514
投資有価証券	540,641	472,278
破産更生債権等	248,569	—
その他	241,747	299,115
貸倒引当金	△244,672	△8,100
投資その他の資産合計	786,286	763,293
固定資産合計	4,792,325	4,830,030
資産合計	8,735,131	8,899,128

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	730,690	709,456
短期借入金	910,002	989,999
1年内返済予定の長期借入金	191,310	248,542
未払法人税等	44,991	12,725
賞与引当金	78,843	84,826
その他	602,936	390,429
流動負債合計	2,558,774	2,435,979
固定負債		
長期借入金	977,500	1,358,130
再評価に係る繰延税金負債	731,471	731,471
退職給付引当金	278,547	285,628
役員退職慰労引当金	61,315	72,171
その他	38,949	36,336
固定負債合計	2,087,783	2,483,737
負債合計	4,646,557	4,919,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,993,096	1,993,096
資本剰余金	—	4,217
利益剰余金	422,283	363,636
自己株式	△157,214	△158,532
株主資本合計	2,258,165	2,202,418
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	131,741	78,326
土地再評価差額金	1,698,666	1,698,666
評価・換算差額等合計	1,830,408	1,776,992
純資産合計	4,088,573	3,979,411
負債純資産合計	8,735,131	8,899,128

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	2,319,922	2,247,880
売上原価	1,860,628	1,821,597
売上総利益	459,294	426,282
販売費及び一般管理費	421,990	427,254
営業利益又は営業損失(△)	37,303	△971
営業外収益		
受取利息	20	12
受取配当金	2,426	6,863
不動産賃貸料	2,965	3,054
スクラップ売却益	1,834	1,723
保険解約返戻金	38,791	—
その他	1,157	2,088
営業外収益合計	47,196	13,741
営業外費用		
支払利息	4,006	8,904
営業外支払手数料	—	5,000
手形売却損	3,814	4,299
その他	1,497	2,022
営業外費用合計	9,319	20,226
経常利益又は経常損失(△)	75,180	△7,456
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,567	1,433
固定資産売却益	30,601	—
特別利益合計	32,169	1,433
特別損失		
固定資産除却損	119	25
特別損失合計	119	25
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	107,230	△6,048
法人税、住民税及び事業税	13,840	4,796
法人税等調整額	9,848	—
法人税等合計	23,688	4,796
四半期純利益又は四半期純損失(△)	83,542	△10,844



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前 四半期純損失(△)	107,230	△6,048
減価償却費	41,556	71,556
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,567	△236,572
賞与引当金の増減額(△は減少)	378	5,983
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△43,386	7,080
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,750	10,856
受取利息及び受取配当金	△2,446	△6,875
支払利息	4,006	8,904
保険解約返戻金	△38,791	—
固定資産売却損益(△は益)	△30,601	—
固定資産除却損	119	25
売上債権の増減額(△は増加)	40,330	263,488
たな卸資産の増減額(△は増加)	△423,634	△602,129
仕入債務の増減額(△は減少)	113,184	△21,234
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	30,859
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,078	—
割引手形の増減額(△は減少)	△35,060	12,460
破産更生債権等の増減額(△は増加)	1,567	248,569
その他	40,866	△78,011
小計	△234,576	△291,088
利息及び配当金の受取額	2,447	6,877
利息の支払額	△4,159	△9,043
保険解約返戻金の受取額	255,142	—
法人税等の支払額	△7,080	△28,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,772	△321,761
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△130,264	△306,220
有形固定資産の売却による収入	103,297	—
無形固定資産の取得による支出	△3,049	△536
投資有価証券の取得による支出	△56,029	△970
定期預金の増減額(△は増加)	△6,000	10,000
預け金の預け入れによる支出	△114,430	—
その他	270	520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,205	△297,206
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	339,301	79,997
長期借入れによる収入	120,000	557,202
長期借入金の返済による支出	△84,750	△119,340
自己株式の取得による支出	—	△57,202
自己株式の処分による収入	—	59,884
配当金の支払額	△46,999	△46,800
その他	△7,565	△23,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	319,986	449,905
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	125,553	△169,062
現金及び現金同等物の期首残高	443,311	488,812
現金及び現金同等物の四半期末残高	568,864	319,750

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社の主たる事業は、高圧ガス用バルブおよび関連機器類の製造、販売等の単一セグメントであるため、記載を省略しております。